

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 霧丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

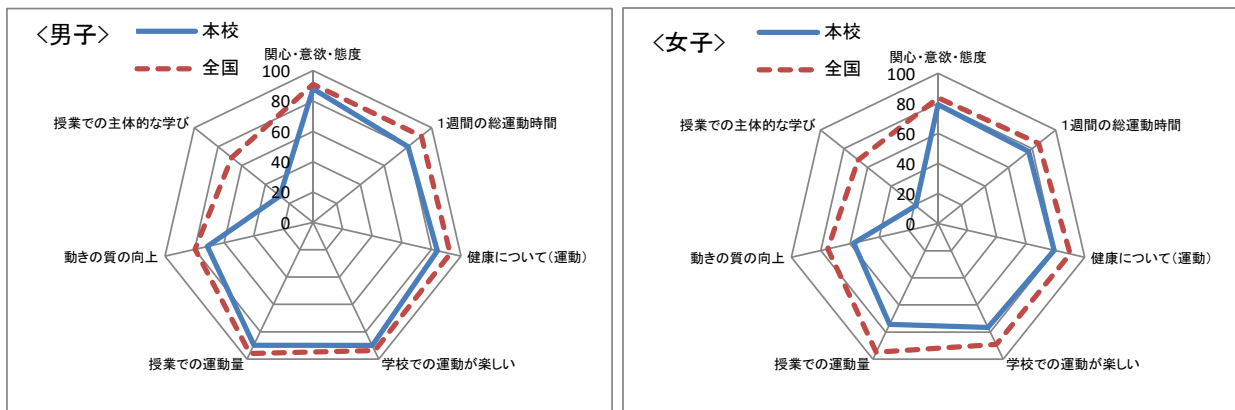
### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

男女ともに「授業での主体的な学び」の項目が全国平均に比べ、低い結果となった。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、各領域の運動に関して、「1単位時間の授業時間が短くなったこと」により、児童が見通しをもって活動する授業展開に無理が生じたことが要因として考えられる。また、「ソーシャルディスタンスを確保しながらの運動」により、児童相互の学び合いが行われにくい状況となったことも原因の一つとして考えられる。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

児童が見通しをもって学習したり、「できた」と学習の成果を実感できるようにするために、1単位時間の授業の中で、「めあて」「まとめ」「振り返り」の位置付けを徹底する。また、個々の課題に対応した場の設定、ソーシャルディスタンスを確保した上での「学び合い」活動の工夫などを行っていく。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・縄跳び運動などでは、がんばりカードを活用する。休み時間の記録を残せるようにして、運動への意欲を高める。
- ・学級全員で遊ぶ機会等を設け、運動への親しみをもたせるとともに、体を動かす喜びを体感させる。